

# 談話における縮約形の意味・機能

## — 「てしまう」をめぐって—

山 崎 恵

### 0. はじめに

談話（話しことば）においては、「書いている」が「書いてる」、「食べてしまう」が「食べちゃう」のように縮約形が現れる。日常会話の雑談では「これなんかクリスマスとかいうよりもずーっと飾ってけちゃうじゃんねえ」のように「飾っておけてしまう」の縮約形「飾ってけちゃう」という使用も見られる。

日本語教育事典によると「話しことばにおいて、ある語形に音の脱落や融合が起きた結果、本来の形式より簡略な音形で音声実現されたものを縮約形と呼ぶ」<sup>1</sup> とある。

この縮約形は日本語教育でも中・上級の学習者の必須学習項目であるが、スピーチレベル（スタイル差）による使い分けとして導入されることが多い。そこで「使用に関しては慎重に指導する必要がある。たとえば『書いてる』の使用はかなりフォーマルな場面でも許容され、『書いちゃう』ではややスタイルが下がる。さらに『書いちゃう』の使用はきわめてスタイルが低くなる。学習者がこれらの縮約形のスタイル上の差を知らずに使用すると非常に奇異な印象を日本人に与えてしまう危険性がある。」<sup>2</sup> とあるように、これら縮約形の指導は、ある種の形態素連鎖に対して規則的に起こる縮約形の提示に留まることが多い。確かに、明らかにスタイルが低くなる使用は避けるべきで、教育上、ある種の縮約形は理解語彙として、聞いて理解できるように指導するだけでよいと思われる。

しかし、縮約形と元の形とはスピーチレベルの違いだけなのであろうか。ブログなどのインフォーマルな場面では、以下のように「てしまっちゃう」のような使用例もあり、「てしまう」にさらに「ちゃう」が接続することによって、「ちゃう」が「てしまう」の縮約形だということが忘れ去られたかのように用いられている。

先方の方の要求が厳しかったので、チョッピリ残っていた労わりの気持

ちが無くなってしまっちやいました。時々そのことはブログにも書いてますが、弁護士のせいだと思います。「Yahoo!ブログ」(2008)(下線：筆者)<sup>3</sup> 本稿では、文末<sup>4</sup> で使用される「てしまう」の縮約形の談話における意味・機能について、「てしまう」と比較しながら考察する。

## 1. 談話資料について

本稿で扱った談話資料は以下のとおりである<sup>5</sup>。

- I 現代日本語研究会 (2002)『男性のことば・職場編』ひつじ書房 (12時間分)
- II 現代日本語研究会 (1999)『女性のことば・職場編』ひつじ書房 (9.2時間分)
- III (2007)『名大会話コーパス』(約60時間分)

上記談話資料 (I、II、III) から「てしまう」「てしまいます」等を含む。以下「テシマウ形」で代表させる)とその縮約形(「～ちゃう/じゃう/ちまう」等)の用例を収集し、発話のどの位置(文末か非文末か)に現れているか分類して示したのが[表1]である。

[表1] テシマウ形と縮約形の出現数と割合

	① テシマウ形			② 縮約形		
	a 文末	b 非文末	a+b	a 文末	b 非文末	a+b
I	7 (3.3)	12 (12.4)	19 (6.0)	209 (96.7)	85 (87.6)	294 (94.0)
II	11 (4.9)	11 (9.0)	22 (6.4)	212 (95.0)	111 (90.9)	323 (93.6)
III	52 (4.4)	41 (4.8)	93 (4.6)	1123 (95.6)	805 (95.2)	1928 (95.4)
計	70 (4.3)	64 (6.0)	134 (5.0)	1544 (95.7)	1001 (94.0)	2545 (95.0)

( )は%

談話資料からは、テシマウ形(134例)とその縮約形(2545例)、合わせて2,679例の用例が得られた。どの談話資料においても、使用率は縮約形が約95%、テシマウ形が約5%で、圧倒的に縮約形の使用が多い。談話では縮約形が

多用されることは予想どおりであるが、逆にテシマウ形がどのような談話場面に現れているかにもふれたい。

また、縮約形の文末での使用と非文末での使用とを比較すると、全体の平均では、文末が約60%に対し非文末が約40%という結果で、6：4の割合で文末使用例が多いことがわかる。今回は特に発話の文末に現れている形を考察の対象とする。

## 2. 出現形式とその頻度数

談話資料の文末の縮約形には、どのような形がどのくらい現れているか分類して示したのが〔表2〕である。

〔表2〕縮約形の文末での出現形式とその頻度数

	I	II	III	計
チャワナイ系	0	0	5	5( 0.3)
チャオウ系	8	5	8	21( 1.4)
チャッタ系	68	88	414	570( 36.9)
チャッテ系	28	27	197	252( 16.3)
チャッテル系	18	6	24	48( 3.1)
チャウ系	81	80	470	631( 40.9)
チャエ系	3	0	3	6( 0.4)
チャエバ系	3	5	2	10( 0.6)
計	209	212	1123	1544( 100)

\*各系は、丁寧形や各活用形の直後に助動詞や助詞が承接しているものも含む。

\*チャッテル系にはチャッテテ形（7例）を含む。

出現形式はチャウ系（40.9%）、チャッタ系（36.9%）、チャッテ系（16.3%）の順で多く、これらで全体の約94%を占めている。出現頻度の高いチャウ系とチャッタ系の内訳を以下の〔表3〕、〔表4〕に示す。

[表3] チャウ系の出現形式内訳とその頻度数

	I	II	III	計
チャウ	32	18	128	178( 28.2)
チャウーヨ/ネ/ヨネ	9	12	81	102( 16.1)
チャウーノ/ノダ	19	31	129	179( 28.3)
チャウーモノダ/ワケダ	2	3	23	28( 4.4)
チャウーカモシレナイ/ラシイ/ミタイダ	4	0	13	17( 2.6)
チャウーカラ/ケド	10	10	51	71( 11.2)
チャウージャナイデスカ	1	1	7	9( 1.4)
チャウージャン	3	1	8	12( 1.9)
チャウートカ	1	0	5	6( 0.9)
チャウーッテ	0	0	2	2( 0.3)
チャウーシ	0	2	11	13( 2.0)
チャウーデシヨ	0	2	12	14( 2.2)
計	81	80	470	631( 100)

[表4] チャッタ系の出現形式内訳とその頻度数

	I	II	III	計
チャッタ	19	36	172	227( 39.8)
チャッターヨ/ネ/ヨネ	9	17	46	72( 12.6)
チャッターノ/ノダ	29	21	116	166( 29.1)
チャッターモノダ/ワケダ	0	4	17	21( 3.7)
チャッターカモシレナイ/ラシイ/ミタイダ	0	0	5	5( 0.9)
チャッターカラ/ケド	5	6	33	44( 7.7)
チャッタージャナイデスカ	0	1	2	3( 0.5)
チャッタージャン	0	0	5	5( 0.9)
チャッタートカ	0	0	2	2( 0.4)
チャッターッテ	0	0	5	5( 0.9)
チャッターシ	3	1	1	5( 0.9)
チャッターデシヨ	0	0	2	2( 0.4)
チャッタラ	3	0	4	7( 1.2)
チャッターリ	0	2	4	6( 1.1)
計	68	88	414	570( 100)

チャウ系631例のうち目立ったのは、「ノダ」を後接する「チャウーノ／ノダ」179例(28.3%)、言い切りの「チャウ」178例(28.2%)、「チャウーヨ／ネ／ヨネ」など終助詞を伴った形102例(16.1%)である。

一方、チャッタ系570例のうち目立ったのは、言い切りの「チャッタ」227例(39.8%)、「ノダ」を後接する「チャッターノ／ノダ」166例(29.1%)、「チャッターヨ／ネ／ヨネ」など終助詞を伴った形72例(12.6%)である。

チャウ系、チャッタ系ともに頻度の高い出現形式は共通しているが、チャウ系では「ノダ」を後接した形と言い切りの形がほぼ同数であるのに対し、チャッタ系では言い切りの形の方がずっと多いことが分かる。

### 3. 「てしまう」の意味と縮約形

ここで「てしまう」の意味について確認しておく。日本語教育では一般に「完了」と「不都合な事態に対する遺憾の気持ちを表す」用法との二つを取り上げる。例えば、『みんなの日本語初級Ⅱ』では、第29課で「てしまう」が導入され、以下のような意味・用法の説明がなされている。「①動作動詞について、ある行為を完全に終了する、②不都合な事態に対する遺憾の気持ちを表す、の2つの用法がある。①、②の意味の違いは動詞本来の意味や前後の文脈から決まる。(例：①おいしかったので、ごはんを全部食べてしまいました。②まちがえて、わたしは彼のごはんを食べてしまいました。)」<sup>6</sup>

また、『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』には「①『無意志動詞+てしまう』のときは後悔の意味になりやすい。②『～てしまおう』のときは完了の意味になる。『～てしまう』が表す完了は、動作主が意志的に行ったものであるのが基本であるので、①のような無意志動詞の場合は完了を表しにくく、その結果後悔の意味になりやすい」とある<sup>7</sup>。しかし、談話資料の縮約形の例を見ると、話し手の遺憾の気持ち(否定的なマイナスの感情)を積極的に表す例は少ないことが分かった<sup>8</sup>。

#### (1) [走行中の車の中] KN1:20代前半女性 (data006.euc(561))<sup>9</sup>

KN1: えっとねー。2センチぐらい。お湯を。じゃがりこのカップに。

X: ぐらぐらの。

KN1: 入れて。そう、だんだんふやけてくるから、それをスプーンとかでつぶして(へえーっ) やわらかくしていくとマッシュポテトになっちゃう。

X: うん、うん、なるほどね。

KN1: もう全然油っぽくもないし、ステーキのそばにつけたい感じ。(えーっ)

X: あーっ、おいしそうかも。

- (2) [車の中] YK2: 20代後半男性、AM1: 20代後半女性、恋人同士  
(data092.euc(1221))

YK2: 今日、MT君に肉じゃが作ってもらっちゃった。

AM1: おいしかった?

YK2: おいしかった。

例(1)はじゃがりこにお湯を入れてふやかし、潰していくとマッシュポテトみたいになって、ステーキのそばにつけたいほどお勧めだと言っている。ここで、「マッシュポテトになってしまう」とテシマウ形にすると、マッシュポテトになるのが不都合な事態であり、遺憾だというニュアンスが出てくるが、縮約形だと遺憾の意は感じられない。例(2)は「てもらう」という行為の恩恵を表す形に後接しており、不都合な事態ではないので、「作ってもらってしまった」とは言いにくい、「作ってもらっちゃった」だと、嬉しいという発話時の話し手の感情が現れている。

例(3)、(4)では、話し手が自分にとって好ましいこと、肯定的なプラスの事態について述べる時に、「てしまう」の縮約形が使われている。

- (3) [休憩時の雑談] 16B: 30代女性、会社員、16A: 30代女性、会社員(II-9555)<sup>10</sup>

16B: ここは出てなかったんですよ。あとからやったからー。

16A: あっ、[名字の一部] ちゃん、あなたはすごい、あたしは尊敬しちゃう。

- (4) [レストランで] ST1: 40代後半男性、OM1: 60代前半女性  
(data035.euc(818))

OM1: 去年落ちて。

ST1: あ、そうですか。

OM1: で、TKさんが、(ええ) もう1回やりましょって言ったら通っちゃった。<笑い>通るとまた大変なんですよ。

例(4)では、去年は文科省の科研(科学研究費補助金研究)に落ちたけれども、今回申請したら通ったと言っており、本人にとって、喜ばしい、プラスの事態の表現である。このように、話し手が自分にとって好ましいこと、肯定的なプラスの事態について述べる時に、「てしまう」の縮約形を使うと、自分でも予想外の出来事で意外だという気持ちや、自分自身で言うのは照れくさいという気持ちが現れている。

(3)' 16A: あっ、[名字の一部]ちゃん、あなたはすごい、あたしは尊敬する  
(わ)。

(4)' OM1: で、TKさんが、(ええ) もう1回やりましょうって言ったら通  
った(の)。

縮約形を伴わない普通体の「尊敬する」、「通った」で述べる場合には文末に終助詞「わ」等を付加する方が自然である。ここでは、文末で使用される縮約形に「てしまう」の意味は残っておらず、話し手の気持ちを表す終助詞と同じような機能を持っていると言えるのではないだろうか。他にも「ダメもとで日本語教育能力検定試験を受けたら、一発で合格しちゃった!」など、望ましい事態に「ちゃった」をつけて言うことがある。「てしまう」を使うと「あそこは第一志望の大学じゃなかったのに、合格してしまった。」のように不本意な遺憾の意が出てくる。また、「一発で合格したよ!」だと自慢しているように相手に聞こえるのでは、という聞き手への配慮が働き、「合格しちゃった」とチャッタ形を使って直接的に述べることを避けていると考えられる。

(5) [休憩・雑談] 20A: 50代男、高校教員、20C: 30代男、高校教員 (I-10185)<sup>11</sup>

20C: ㄥ「これが必要なんです」ってそこの科の人がゆうと一、他の科の人が一、ㄥ「そんなこた一ね一だろ一おまえ」っていいづらじゃないですか。

20A: ま一、そうだよな一。

20C: でも必要ならば、枠の中におさめてくださいっていっちゃう。

20A: ま一、そういうことだよな一。<笑い 複数>

(6) [ホテル喫茶コーナー] HA1: 40代男性、KY2: 30代女性、HA1はKY2の元上司。(data078.euc(513))

HA1: 木に登って、あ一、木には登らなかったけど。今日ちょっと昼間食べ過ぎたからさ。これは体動かさなあかんと思って一生懸命ちよつと手伝っちゃった。<笑い>うどん定食なんか食べて。<笑い>ご飯もついてきちゃって。

例(5)、(6)では、話し手の意図的な動作・行為であるが、下の(5)'、(6)'と比べると、縮約形を伴った形で話すことによって、照れ隠しのように「自然にそうなる、自己制御の範囲外だ」とみなしているように取れる。語感がやわらかくなり、その場の雰囲気や相手に対する気まずさなどが緩和され、一種の婉曲的な表現として機能している。

(5)' 20C: でも必要ならば、枠の中におさめてくださいっていう。

(6) HA1: これは体動かさなあかんと思って一生懸命ちょっと手伝った。

#### 4. 縮約形の特徴的な形式と意味・機能

縮約形には、「いやんなっちゃった」や「なくなっちゃう」など変化の「なる/なくなる」に後接する例が多い。日常会話コーパスの談話資料Ⅲに現れる縮約形(1,928例)の前接動詞のうち出現頻度が10以上の動詞を[表5]に示す。

[表5] 談話資料Ⅲに見られる出現頻度の高い動詞

なる(294)、行く(81)、する(57)、忘れる(54)、思う(52)、食べる(46)、言う(42)、終わる(28)、なくなる(25)、言われる(25)、寝る(25)、やる(22)、出る(21)、使う(18)、入る(18)、びっくりする(17)、死ぬ(17)、捨てる(17)、やめる(15)、できる(14)、入れる(14)、買う(14)、疲れる(13)、帰る(12)、考える(12)、泣く(11)、見る(11)、取られる(11)、来る(11)、笑う(10)、困る(10)
--

動作動詞以外では、「忘れる/思う/びっくりする/疲れる/泣く/笑う/困る」などの心理的な感情・感覚を表す動詞、受け身動詞や可能動詞のような無意志動詞に接続する傾向が見られる。

縮約形「思っちゃう」は、「とか」と共起する例が多い。例(7)では、「思う」という話し手の感情表現でありながら、意外・予想外の心の動きだという含みを感じられ、断言を避けるほかし表現となる。

(7) [休憩時・雑談]02A: 20代女、会社員、02C: 20代女、会社員(Ⅱ-423)  
02A: で、なんかチェックインみたいのが、自動で、機械でできるようになってるでしょう。

02C: んー、んー、んー、んー。

02A: でびっくり、あれがやってみたいとかおもっちゃった。

出現頻度が3番目に高かったチャッテ形にも、「とか」を伴った「とか言っちゃって。」のような言い差して終わる例が多く見られた(チャッテ形252例中「とか」と共起している例は33例(12.7%))。この場合も、言い回しが冗談っぽく軽く響き、相手に対して角が立たない遠回しな表現となり、婉曲的效果がある。

(8) [朝・雑談] 21A: 30代男、ミュージシャン、21B: 20代女、ミュージシャン、21G: ? (Ⅰ-10403)



21B: で、なんかいっしょうけんめい中小企業の。えー、でも、[歌詞] じゃないじゃんそれは、ってあたしがクレームをつけたら、ちょっとねー、不服そうだったの。<笑い 複数>だって、[歌詞]にこだわるならー、『北の国から』のセリフにしなよー、とかいったらー、¥「えー、中小企業とか KSD とか、今盛り上がってるからできない」。<笑い 複数>きのう★##<sup>12</sup>。

21A: →時事ネタを←おりませつつ<笑い>。

21B: え、なんかさー、どうでもいいけど古いよー、とかいっちゃって  
★不服そうだとかいて

21G: →ほかに####とかさー。←

- (9) [居酒屋での雑談] SN1: 20代男、大学院生、HK1: 20代女、短大生、HY1: 20代女、SN1の交際相手でHK1の姉 (data025.euc(1644))

SN1: 俺と妹似てねえらー、顔。

HY1: でも微妙に似てるよね。

HK1: 微妙に似てるよ、うん。

SN1: 似てる?

HK1: 似てる。鼻とか。<笑い>鼻とか。鼻とか言っちゃって。

SN1: 鼻ね。あの一、ずんぐりむっくりの鼻してるからね。

- (10) [レストランで]ST1: 40代後半男性、OM1: 60代前半女性 (data035.euc(1217))

ST1: いやー、あれが、あの、文部省のあれがなければね。

OM1: あー、引っかかっちゃったのね。4年とか、また今、い、院を改造してるから、またそれに引っかかっちゃうとか。演習担当やっていると、もう抜けられないでしょう、なかなか。厳しいですよ。でも抜けてる人いるじゃないですか、とか言っちゃって。

ST1: もう、いますよ。

例(8)~(10)ように自分の「言う」という行為にこの表現を使うと、冗談っぽく軽く響き、相手に対してきつい印象を与えない。特に例(11)のような依頼の場合は、依頼された聞き手の心理的負担を軽減するという意味で効果的である。

- (11) [会議での打合わせ] 13A: 20代女性、会社員、13G: 50代男性、会社員 (II-7520)

13A: あー、じゃー、ちょっとこれの一、見方、自分しかわからないように<笑いながら>書いてあったからー、たぶん、これ一、間違えたと思います。

13G：うーん。<間>

13G：ちょっとさー。

13A：はい。

13G：手数かけちゃうけどー、直接電話しちゃうてよ。

13G：これ、間違ってるといっちゃうとー、悪いもん。

13A：あっ、これー、じゃ、もう、なんにもいわないとー、来月からこのまんまー、★できちゃ、てしまう。

13G：→になるんですかって←まず、そのー、問いかけかけちゃうてー、で、もしそうなるのであればー、それこそこのー、一括払いが済んでる分がありますよーっゅこととー、(はい Inf(女))からそのー、これ、このまとめた趣旨ってゆうのはもう、工場分、ようするにこうやって分けるのかかったらいだらうからっゅって、工場ごとにまとめただけなんだね、じ、事務所ごとに。で、今話ししてるのはー、今度ー、3部と4部と一緒にしなきゃったわけ。まあ、3部と4部とー、ほら、請求書別れてるでしょ↑

次に、縮約形の否定形「チャワナイ」について考える。「チャワナイ」は例1のように上昇イントネーションを伴い、聞き手への「誘いかけ」の例が多く、例2のように文末では下降イントネーションで否定の意味を表しにくいと思われる。

例1「もう少しだからやっちゃうない↑ (=やっちゃうよ)」

例2??「もうお腹い**っ**ぱいだから、食**っ**ちゃうない↓」

cf.「もうお腹い**っ**ぱいだから、食**っ**べてしまわない↓」

非文末では、否定の意味を表す例が談話資料Ⅱに1例あった。

(12) [会議・小会議] 15B：50代女、社長講師、15A：30代女、社員教育・講座企画運営担当

15B：それとあと [名字] さんがー、アップでやるのを、(ええ Inf(女)) 1時間半のものを (ああ、ええ Inf(女)) 開発して欲しいと。(8997)

15A：1時間半ってゆうのは1時間半動きっぱなしってゆう感じなんですか↑(8998)

15B：そう。(8999)

15A：あー。(9000)

15B：だから、★あの一。<言いさし>(9001)

15A：→<笑いながら>死ん←じゃうんじゃないの、★みんな。<笑

い> (9002)

15B: →死んじゃわない←と思うけど、でもほらおばあさんたちがやるから、★あ、おばあさんったら悪いけどさ。(9003)

15A: →<笑いながら>おばあさんたち。←(9004)

一方、談話資料Ⅲには、チャワナイ形5例中、「チャワナイト」「チャワナイデネ」(各1例)のほかは「チャワナイ?」という「誘いかけ」(3例)で、否定の意の用例はなかった。

## 5. 談話の中のテシマウ形

テシマウ形は文末70例、非文末64例、合わせて134例の使用が見られたが、主に会議や朝礼など改まった場面で使用されている。

また、テシマウ形と縮約形を同一話者が同じ発話の中で使用している場合もある。例(13)、(14)は、会議など改まった場面で、最初はテシマウ形で話し始めるが、後で縮約形が出てくるパターンになっている。

(13) [会議]02H: 50代男、大学教員 (I-920)

02H: \$ # # # があんまり認めてしまいますと、うちの学校で勉強しない間に、卒業できちゃう。

(14) [朝・朝礼] 12B: 20代女、営業アシスタント、12C: 20代男、営業 (I-5292)

12B: 先週一になっちゃったんですが、夏休みをいただいて、ちょっと一館山のほうに、あの、旅行に行ったんですが、そのときに、なんか、あの、散歩していたときに、あの、青蛇っていうんですかね。

12C: 青大将 (あおだいしょう)。

12B: 青大将を目撃して、で、初めて、間近で見た、見てしまって、でも、逃げ出しちゃったんですが<笑い>。

前述の例(11)は会議の打合せで年配の13Gに対し13Aが「できちゃ、」と縮約形で言いかけたのをテシマウ形に言い直している。

しかし反対に、家の中での母娘の会話で、母親が同じ前接動詞「こえる」に対し、最初は縮約形で、後からテシマウ形が現れる(14)のような例もあり、同一話者の一発話内でのテシマウ形と縮約形との混用のパターンについては、会話の参加者の属性も考慮するなどして、さらに観察が必要である。

(15) [O家での母娘の会話] OK1: 50代女、OA2: 20代女 (data042.euc(587))

OK1: そういうことがあるよ。体の(うん) 1つの体型にあれは影響してくる。それでね、運動やってる人も(うん)、やめると反動ですごいこえちゃうの。(うん、そうやね) 運動やってる人が、あの、すごく一生懸命やってた人が、もう何かの事情で、その、今まで10やとったのが、1にしちゃったっていう人は、(うん) ほんとにその反動でこえてしまうっていうことは、あれは何でやるね。

## 6. まとめと今後の課題

以上、「てしまう」の談話における縮約形の意味・機能について、談話資料の文末での使用例を中心に考察した。文末に多用される縮約形は、元の「てしまう」の意味が希薄化する一方、軽く冗談っぽいニュアンスを付加し、談話の場を和らげる効果があり、緊張緩和的な機能を果たしている。これは文末の使用において縮約形が独自の機能を帯びていることを示唆していると考えられる。

冒頭にも挙げた、「これなんかクリスマスとかいうよりもずーっと飾ってけちゃうんじゃないねえ」をテシマウ形にすると「飾っておけてしまうんじゃないねえ。」のように不自然な表現になる。他にも「何かいつも食べていいよとか言われるとずっと食べてお腹いっぱいになっちゃってきちゃったり。」という例もある。これも「お腹いっぱいになってしまってきてしまったり」とテシマウ形にするとおかしい文になってしまう。縮約形になると、「てしまう」の意味が希薄化し一語化しているようである。

受身形(「V-チャワレル」)、使役形(「V-チャワセル」)の使用もまだ一般的ではないが、webでは見られる<sup>1)</sup>。既に「てしまう」の縮約形だということ忘れ去られたのか、「～ちゃってしまう」<sup>4)</sup>、「～てしまっちゃう」<sup>5)</sup>のような例もWeb上では見受けられる。

今後、談話の中ではこのような補助動詞の元の形だけでなく縮約形も含めた相互承接の自然度についても考えていきたい。

### [注]

- 1 『新版日本語教育事典』p.17
- 2 同上
- 3 現代日本語書き言葉均衡コーパス(BCCWJ)の「少納言」より。
- 4 ここで、「文末」としたものは、単文及び主節の述語の位置に現れたものを指し、複文の接続節(従属節/並列節)述語の位置に現れたものを「非

## 談話における縮約形の意味・機能

文末」とした。

- 5 このデータは山崎（2006）で収集・分類したものであるが、今回は主に発話の文末の位置に現れるデータを考察の対象として使用する。
- 6 『みんなの日本語初級Ⅱ 教え方の手引き』p.50
- 7 『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』p.47
- 8 山崎（2006）で、文末のチャウ形178例とチャッタ形227例を「話し手の遺憾の気持ちを表す」例とそうではない例とに振り分けたと、チャウ形は78例 vs.100例、チャッタ形は86例 vs.141例となり、チャウ形、チャッタ形のいずれも半数以上の用例が話し手の遺憾の気持ちを表さないとしている。
- 9 （data006.euc(561)）は談話資料Ⅲ『名大会話コーパス』のデータ番号。以下、同様。
- 10 （Ⅱ-9555）は談話資料Ⅱ『女性のことば・職場編』のデータ番号。以下、同様。
- 11 （Ⅰ-10185）は談話資料Ⅰ『男性のことば・職場編』のデータ番号。以下、同様。
- 12 「#」は聞き取り不明の箇所、「★」は発話の途中で、次の話者の発話が始まった場合、次の話者の発話が始まった時点を示す。また、前の話者の発話に重なった部分は始まりを「→」、終わりを「←」で示している。
- 13 「脳みそくすぐっちゃわれてる最中」<http://bokete.jp/boke/35435671/>、「ドラマだけ売れてずるい、K ポップスも一緒に売っちゃわせて！というのが、見え見えになってからは、すっかり冷めちゃいました。」  
<http://plaza.rakuten.co.jp/nijinoki313/diary/201108030000/>（2015.10.22アクセス）
- 14 「たまに險がのっかっちゃってしまうんですがどうやったら治りますか」  
<http://lineq.jp/q/17797032>（2015.10.22アクセス）
- 15 「私のパソコンが、壊れてしまっちゃったよー」  
<http://www.ne.jp/asahi/rem/hiroba/omocha/omocha18/goto18.html>（2015.10.22アクセス）

### [参考文献]

- 阿部二郎・庵功雄・佐藤琢三編（2015）『文法・談話研究と日本語教育の接点』くろしお出版
- Ohso Mieko（1984）“CONTRACTIONS: tte & chau” A paper prepared for the Asian Studies Association of Australia Fifth National Conference, Adelaide

University

- 大場美穂子 (2002) 「日本語の補助動詞『しまう』の意味」『マテシス・ウニヴェルサリス』3巻2号、獨協大学、pp.143-157
- 鈴木智美 (1998) 「『～てしまう』の意味」『日本語教育』97号、日本語教育学会、pp.48-59
- スリーエーネットワーク編著 (2001) 『みんなの日本語 初級Ⅱ 教え方の手引き』スリーエーネットワーク
- 高橋太郎 (1969) 「すがたもくろみ」金田一春彦編 (1976) 『日本語動詞のアスペクト』むぎ書房所収、pp.117-153
- 竹田有希 (2012) 「台湾における縮約形の指導の現状と指導法に関する考察ー日本語教科書の視点からー」姫路獨協大学大学院2011年度修士論文 (未公開)
- 田中章夫 (2002) 『近代日本語の語彙と語法』東京堂出版
- 日本語教育学会編 (2005) 『新版日本語教育事典』大修館書店
- 藤井由美 (1992) 「『してしまふ』の意味」『ことばの科学5』むぎ書房、pp.17-40
- 益岡隆志・田窪行則 (1992) 『基礎日本語文法一改訂版一』くろしお出版
- 星野和子 (2000) 「『しまふ』から『てしまふ』へ」『日本文学』93、東京女子大学、pp.95-111
- 松岡弘監修、庵功雄・高梨信乃・中西久美子・山田敏弘 (2000) 『初級を教える人のための日本語文法ハンドブック』スリーエーネットワーク
- 丸谷しのぶ・和栗雅子・寺内弘子・菊池周子・法貴則子・梅岡巴香 (1998) 「『てしまふ』はどのような表現かーその『心理側面』についてー」『留学生日本語教育センター論集』24、東京外国語大学、pp.119-131
- 嶺岸玲子 (1999) 「日本語学習者への縮約形指導のめやすー日本人による評価と使用率をふまえてー」『日本語教育』102号、日本語教育学会、pp.30-39
- 梁井久江 (2003) 「『～テシマウ』と『～チャウ』の相違」『日本語教育学会春季大会予稿集』日本語教育学会、pp.67-72
- \_\_\_\_\_ (2006) 「～テシマウにおける意味・機能の変化」『日本語学会2006年度春季大会予稿集』日本語学会、pp.117-124
- 山崎恵 (2006) 「談話における『てしまふ』とその縮約形」日本語教育国際研究大会 (コロンビア大学、2006.8.6) 発表資料
- 山崎恵 (2007) 「日本語の話し言葉の文法・語法についてー『てしまふ』を例としてー」義守大学応用日語系「全方位日語応用」国際学術会議予稿集、

## 談話における縮約形の意味・機能

pp.22-32

- 山崎恵（2008a）「新聞に見られる『てしまう』使用の実態—新聞コーパスより—」  
大曾美恵子編『コーパス利用による日常会話の文法・語法の研究』平成17  
年度～平成19年度科学研究費補助金基盤研究（C）成果報告書（研究課題  
番号17520311）、pp.11～21
- 山崎恵（2008b）「日常会話における『てしまう』—新聞に見られる『てしまう』  
との比較—」第7回日本語教育国際研究大会予稿集2、pp23-26
- 吉川武時（1973）「現代日本語動詞のアスペクトの研究」金田一春彦編（1976）  
『日本語動詞のアスペクト』むぎ書房所収、pp.155-327

# The Meaning and the Function of Abbreviated Forms in Discourse: in the Cases of 'teshimau'

Megumi YAMASAKI

In discourse, abbreviated forms such as 'kaiteru' from 'kaiteiru' and 'tabechau' from 'tabeteshimau' are used. These abbreviated forms are compulsory grammar items that are learned by intermediate to advanced level learners of Japanese.

This paper examines the meaning and the function of 'teshimau' and its abbreviated forms 'chau/jau' at the sentence final position. The basis of this study are 134 examples of 'teshimau' and 2,545 examples of abbreviated forms, totaling 2,679 examples collected from three different discourse data sets.

It is generally considered that 'teshimau' has two meanings or types of usage; perfective and the expression of regrets for unexpected situations. However, in the discourse data, abbreviated forms do not indicate the speaker's regret very often but rather, positive assessment of the situation are more common. In such cases, the abbreviated forms express that the outcome is unexpected. Also, even when the action or conduct of the speaker is intentional, the abbreviated forms imply that it was inevitable or unavoidable.

It is noted that the abbreviated form 'chau' is often combined with 'naru/nakumaru' forming 'nacchau/nakunacchau' to indicate changes. It is also noted that the abbreviated forms of 'omou/iu' forming 'omocchau/icchau' often accompany 'toka.' This paper concludes that the abbreviated forms that are frequently used at the sentence final position are, on one the hand, losing their original meaning of 'teshimau' but on the other, by adding a humorous tone, the discourse is softened and therefore decrease the tension.